

第 2 回
東秩父村地域公共交通活性化協議会

地域公共交通の現状について

2020年(令和 2 年) 9 月

目 次

1. 地域公共交通の現状.....	3
1-1. 公共交通の運行状況.....	3
1-2. 公共交通の利用状況.....	7

1. 地域公共交通の現状

1-1. 公共交通の運行状況

(1) 村内の公共交通等

村内の公共交通は、2013年の小学校統合に伴い、民間路線の和紙の里への延長、村営バスの川博線廃止及びダイヤ改正が行われました。その後、公共交通網形成計画（2015年3月策定）及び再編実施計画（2016年9月当初認定）に基づき、村営バスの民間バスへの統合、和紙の里をハブとしたバス路線の再編、利用しやすい運賃体系の導入が2016年10月に行われ現在に至っています。

本村に鉄道駅及びタクシーの事業所は無く、イーグルバス(株)が運行する路線バスとNPO法人ふれあいやまびこ会が運営する福祉・空白地有償運送（以降、「やまびこ会有償運送」という。）が運行されています。路線バスは和紙の里をハブとして小川町駅・寄居駅へ運行しています。有償運送は村民全員が利用可能であり、事前予約によって登録した区間を利用することができます。

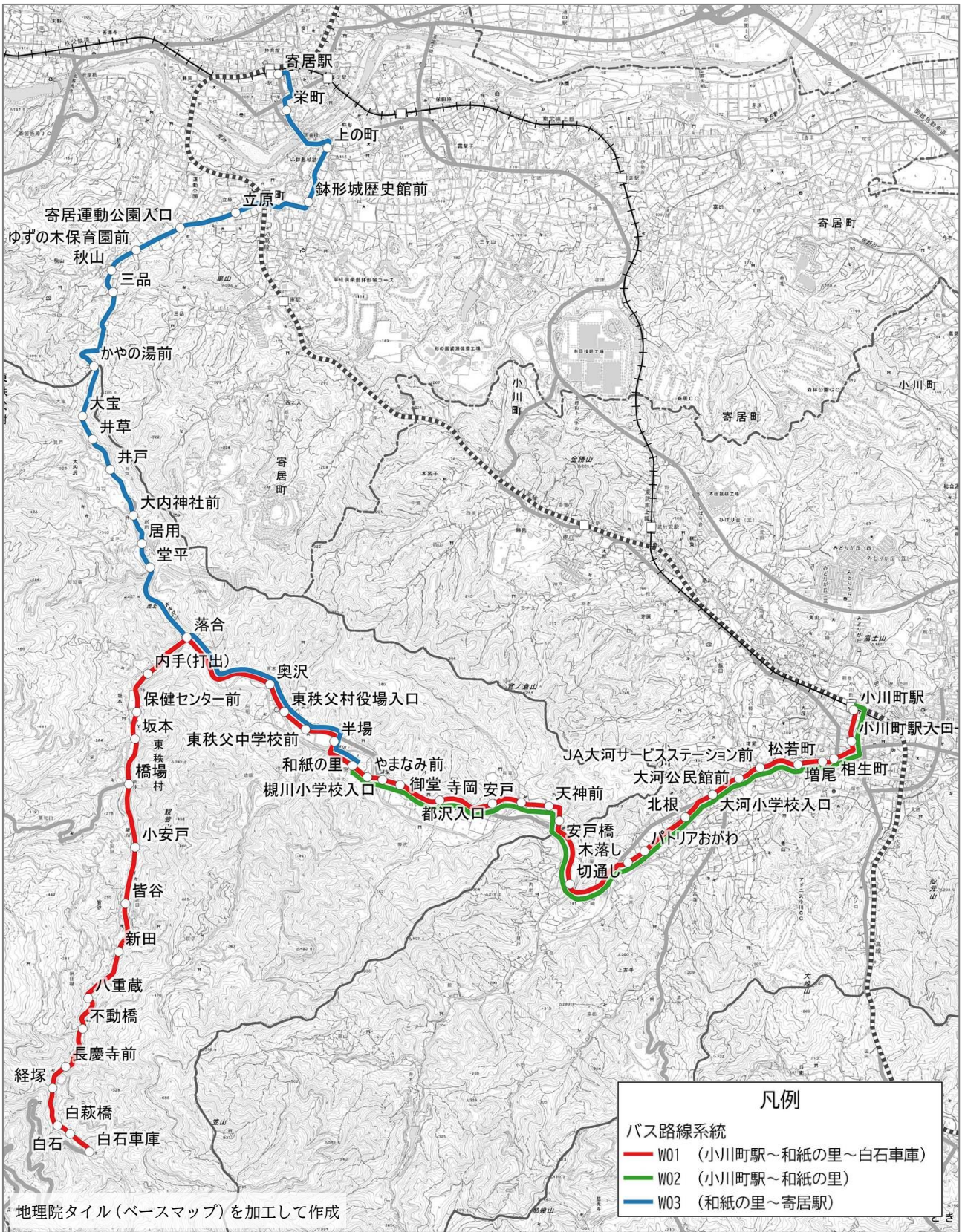
また、例年5月下旬に秩父高原牧場で開催される「ポピーまつり」に合わせ、和紙の里から会場まで路線バスが運行されています。

表 1-1 村内の公共交通等一覧

種別・系統名等		運行事業者	運行時間帯等	運賃
民間路線バス	小川町駅～白石車庫	イーグルバス(株)	平日 6:46～20:44 14便 休日 7:10～17:51 16便	ゾーン制運賃。 同一ゾーン内での乗り降りは230円。ゾーンをひとつ越えるごとに140円加算。最大650円。
	小川町駅～和紙の里		平日 6:22～21:06 20便 休日 6:35～20:33 18便	
	和紙の里～寄居駅		平日 7:00～18:13 12便 休日 10:15～16:14 6便	
福祉・空白地有償運送		NPO法人 ふれあいやまびこ会	平日 8:30～17:00 事前予約制	距離制
村営バス事業		2016年10月に民間バスへ統合		
タクシー		村内に事業所なし（小川町：1社 寄居町：3社）		
鉄道		村内に鉄道駅なし（小川町駅及び寄居駅へ路線バスが接続） ※小川町駅：JR八高線、東武東上線 ※寄居駅：JR八高線、東武東上線、秩父鉄道		

■ NPO法人ふれあいやまびこ会による福祉・空白地有償運送の概要

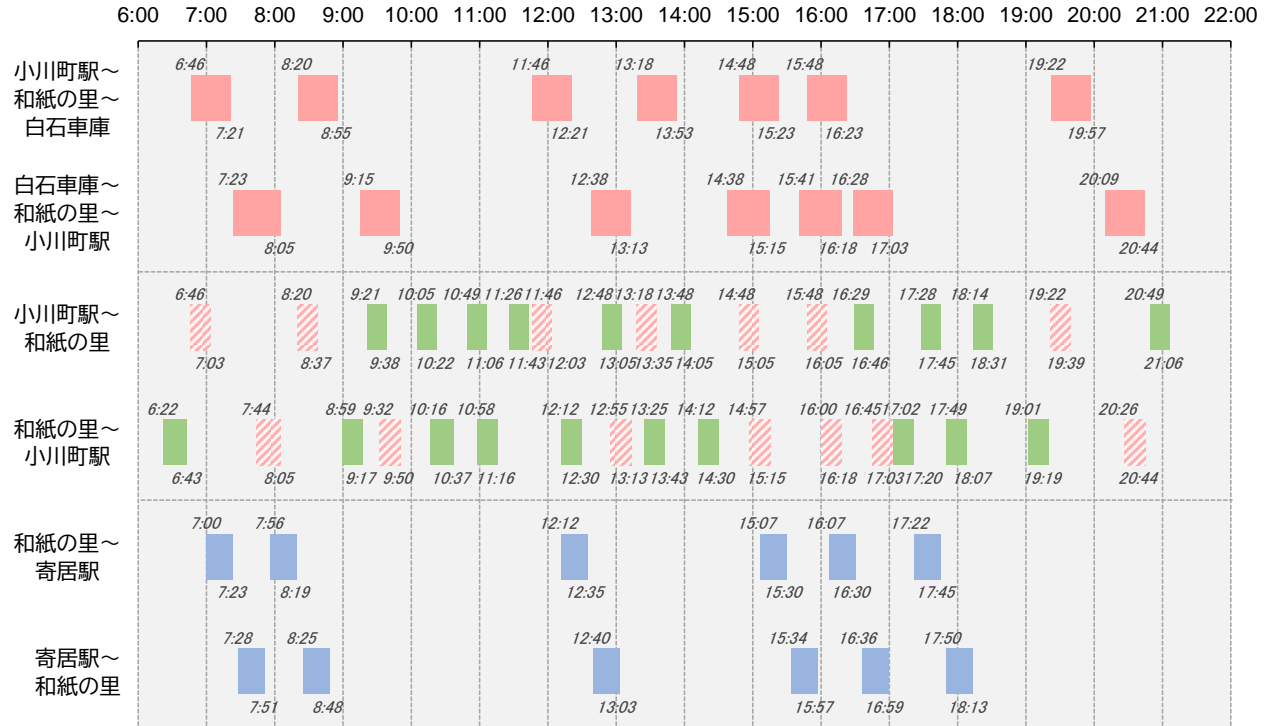
項目	内容
利用対象者	東秩父村村民全員
利用可能範囲	65歳未満の方は、自宅から和紙の里まで 65歳以上の方は、お好きな区間（事前に区間の登録が必要）
利用可能目的	通院・通学・買い物
営業時間	平日の午前8時30分～午後5時00分
利用料金	1kmまで初乗り290円、以降1kmにつき65円加算



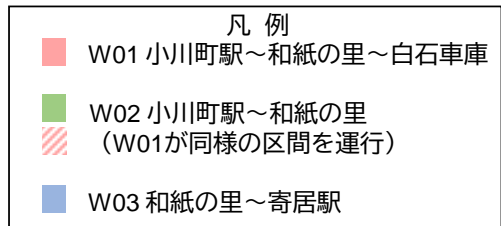
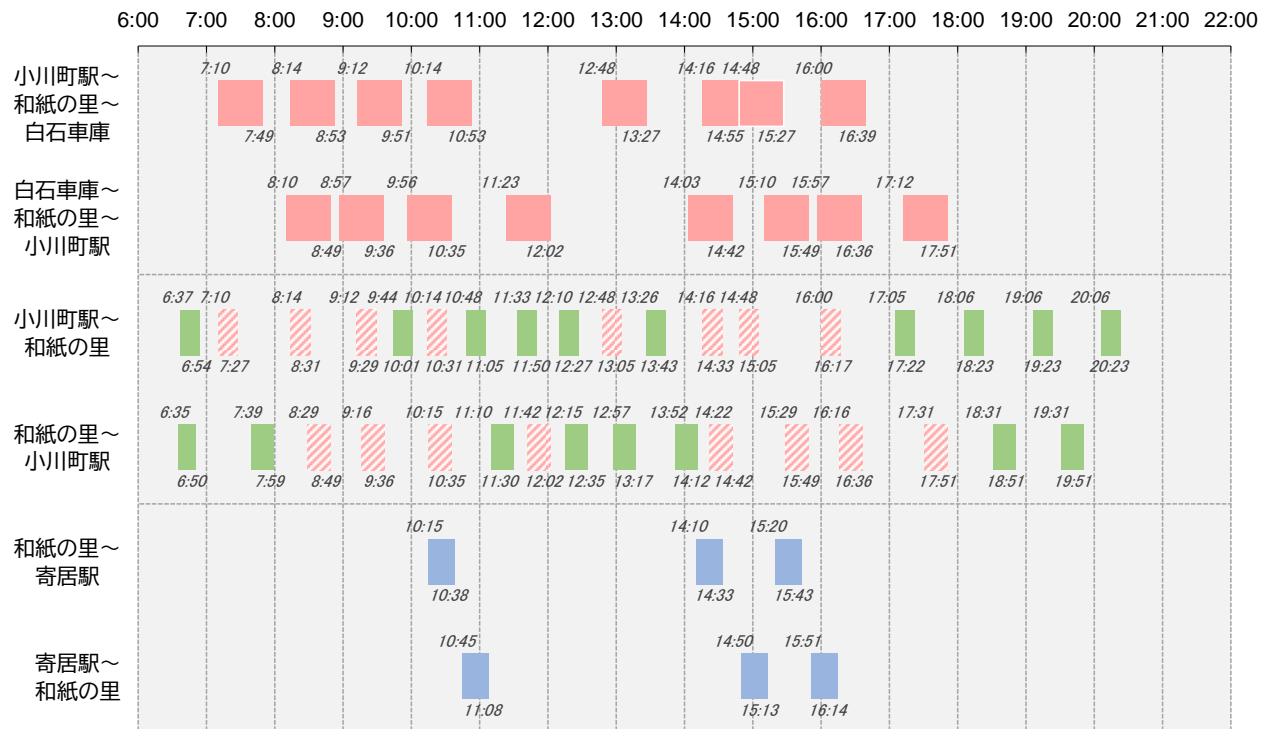
資料：イーグルバス(株) HP

図 1-1 バス路線図

【平日ダイヤ】



【休日ダイヤ】



資料：路線時刻表 東秩父村路線 2019.03.16 改正 (イーグルバス株)

図 1-2 村内路線バスダイヤ

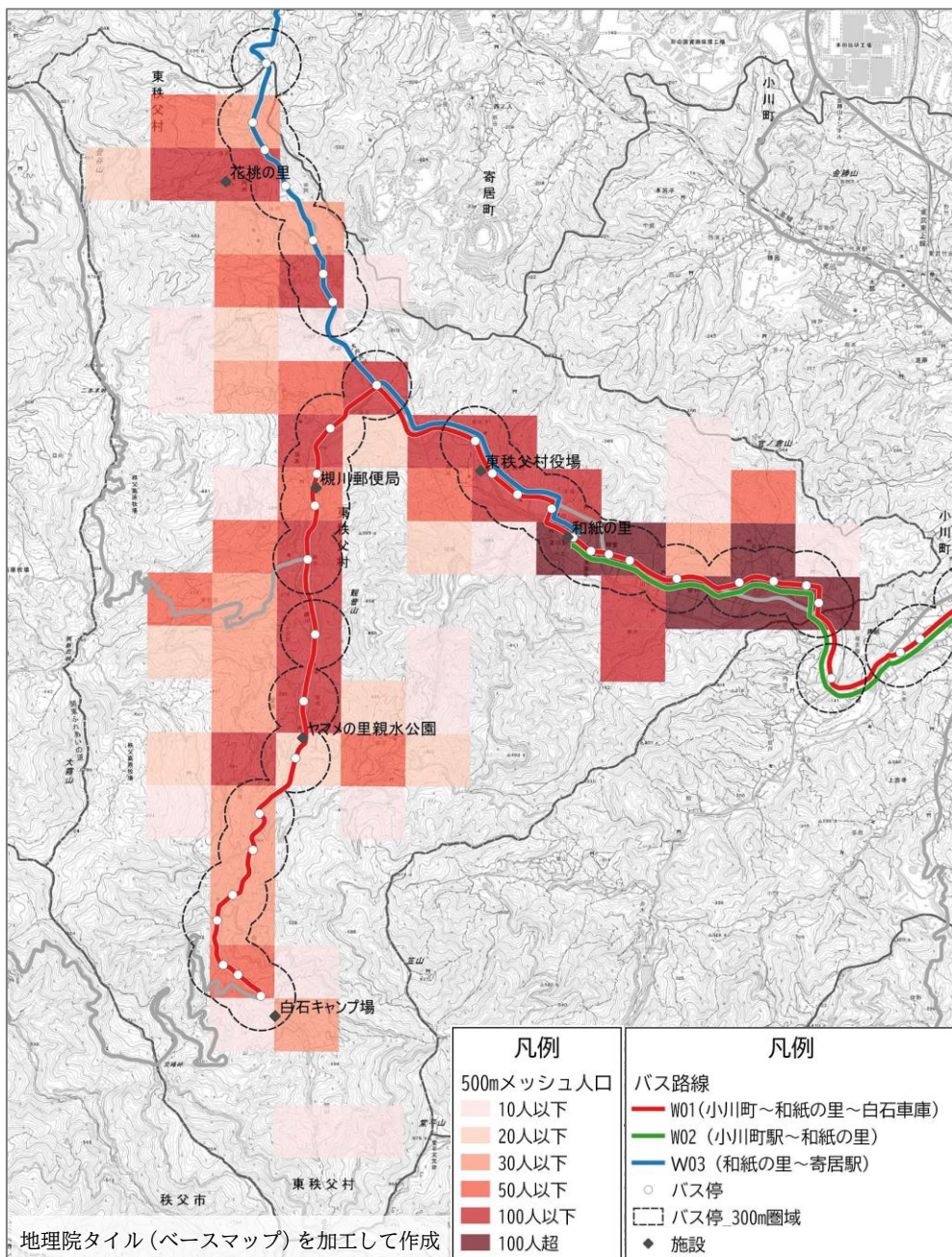
(2) 公共交通のカバー状況

500mメッシュ人口（2015年）とバス停利用圏域（300m^{※1}）を重ね合わせると、路線バスの人口カバー率は66%^{※2}となっています。やまびこ会有償運送は、65歳未満は利用内容やルートが限定されるものの村民全員が利用可能であるため、山間部などバスへのアクセスが良くない地域についても移動手段が確保されています。

※1：バス停利用圏域は一般的に300mとすることが多い。高齢者の歩行速度は約60～70m/分程度であり¹⁾、高齢者が5分以内に到着できる距離である。

1) 第1回高齢者の移動手段の確保に関する検討会（2017年3月10日）配布資料「高齢者の生活・外出特性について」より

※2：総人口：2,915人、圏域内人口：1,928人 → カバー率：66% = 1,928 ÷ 2,915



注) 上図の人口データは将来人口を推計するための処理が施されているため、必ずしも「平成27年国勢調査」における公表値と一致するものではない点に留意が必要である。

資料：国土数値情報 500mメッシュ別将来推計人口（H30国政局推計）、イーグルバス(株) HP

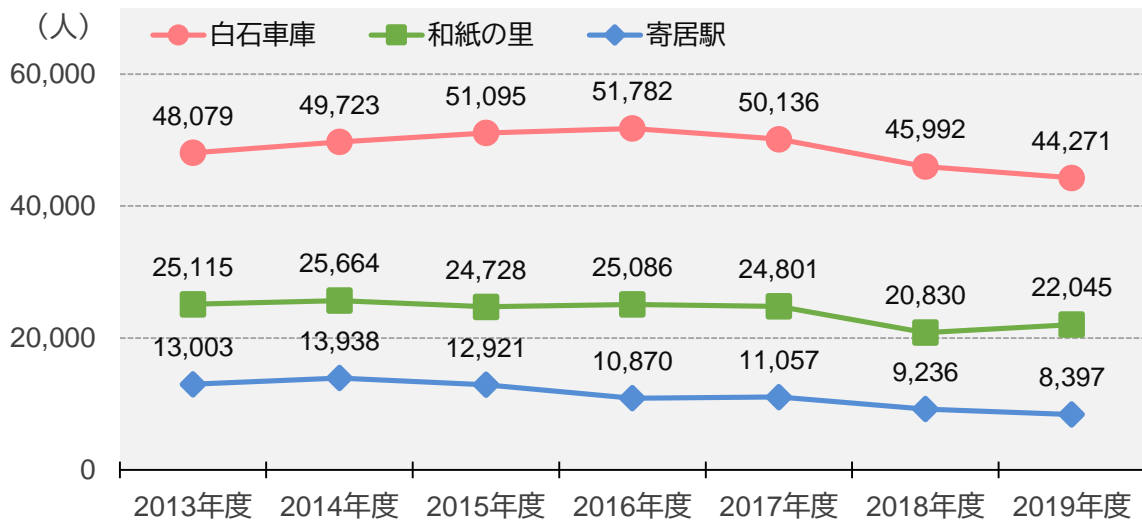
図 1-3 路線バスのカバー状況（現況_2015年人口）

1-2. 公共交通の利用状況

(1) 路線バス

① 年間利用者数

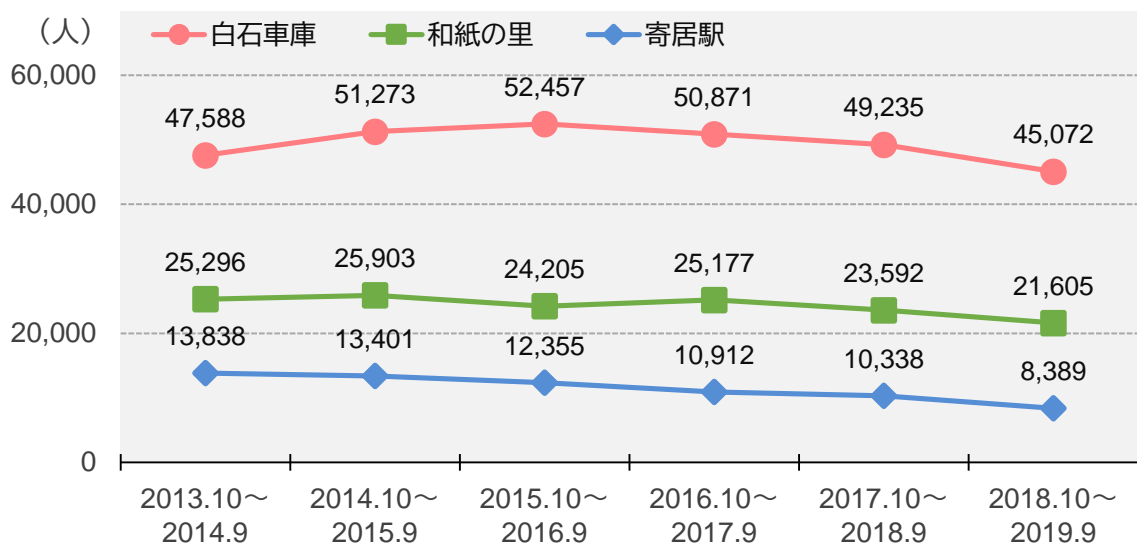
村内路線バスの年間利用者数は、ほぼ同様の利用者数で推移してきているものの、若干の減少傾向にあります。3系統合計で現行計画策定時（2014年度）は89,325人、現在（2019年度）は74,713人と約15,000人減少しています。



※2016年10月再編前の「和紙の里」系統は、「役場入口」及び「皆谷」系統の合算値（以降、同様に集計）
資料：東秩父村、イーグルバス(株)

図 1-4 路線バス 年間利用者数

バス事業の年度である当年10月から翌年9月の1年間の集計で見ると、路線再編が実施された2016年10月以降は、1年目のみ和紙の里系統の利用者数が増加したものの、その他系統では減少しており、その後も減少傾向が続いています。



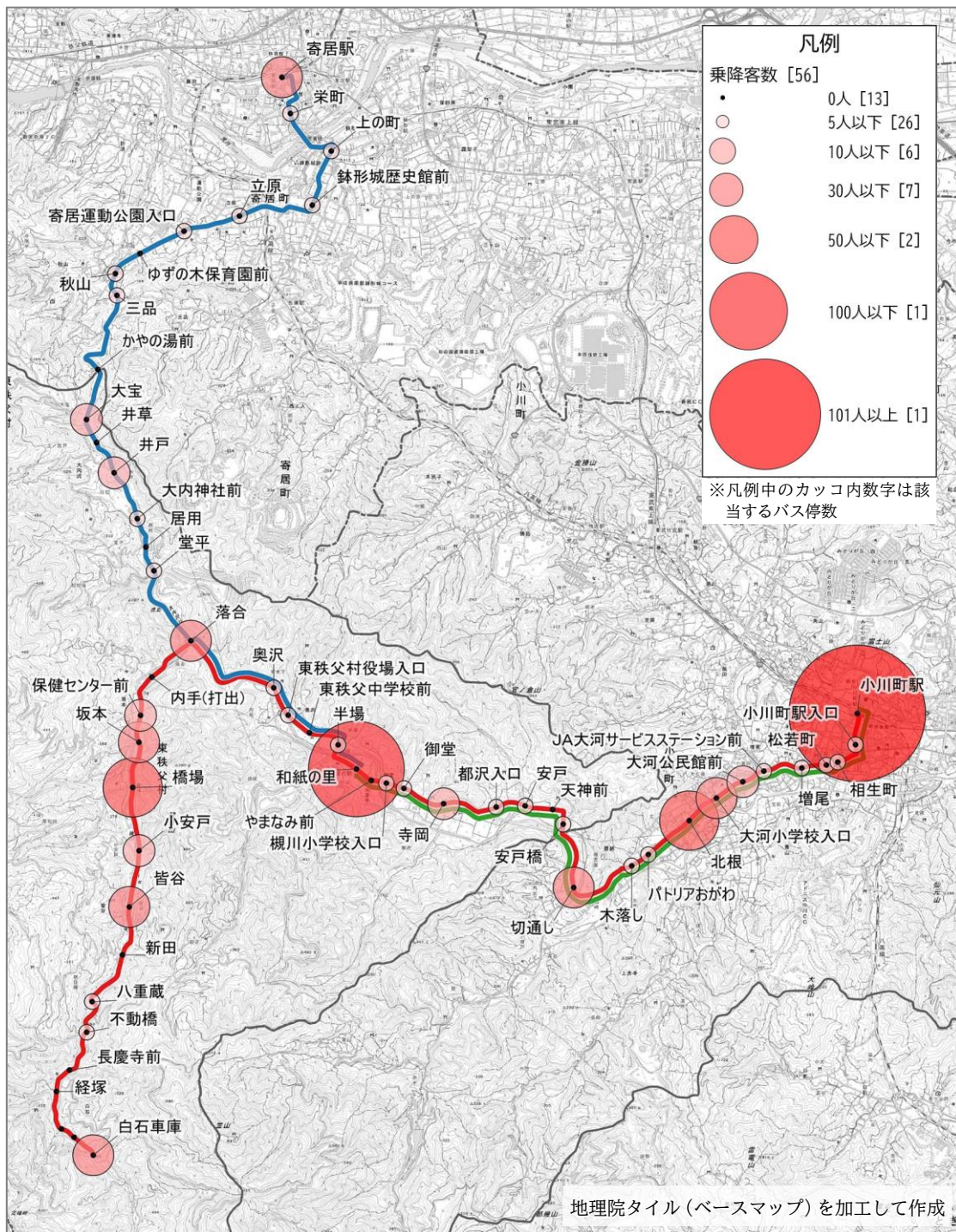
資料：東秩父村、イーグルバス(株)

図 1-5 路線バス バス事業年度 年間利用者数

② バス停別利用者数

村内路線バスの現在（2019年度）のバス停別乗降客数（調査日1日間）は、路線全体では「小川町駅」の利用が最も多くなっています。村内バス停では「和紙の里」の利用が最も多く、「橋場」「落合」「坂本」「皆谷」「白石車庫」で比較的多く利用されています。一方で、1日調査の結果ではあるものの、乗降客数が0人のバス停も複数存在しています。

寄居町内では寄居駅を除き利用は少なくなっていますが、小川町内では小川町駅以外にも乗降客数10人以上のバス停が複数あります。



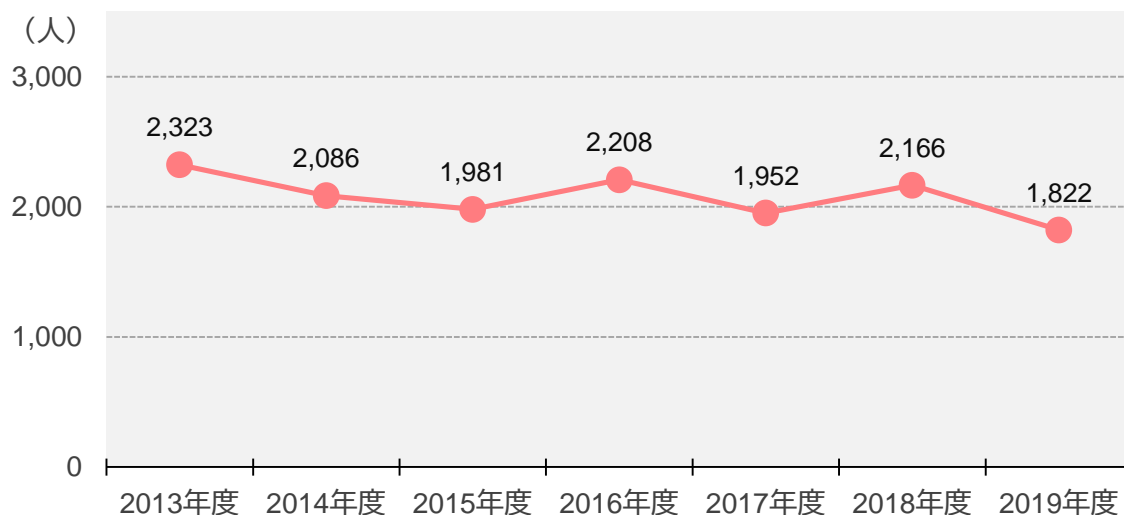
資料：イーグルバス(株)

図 1-6 バス停別乗降客数（2019年度の調査日1日間）

(2) やまびこ会有償運送

① 年間利用者数

やまびこ会有償運送の年間利用者数は、2,000人前後の利用者数で推移しています。2018年4月から有償運送の入会金並びに年会費が免除となり、2018年度の利用者数は増加したものの、2019年度では若干減少となっています。

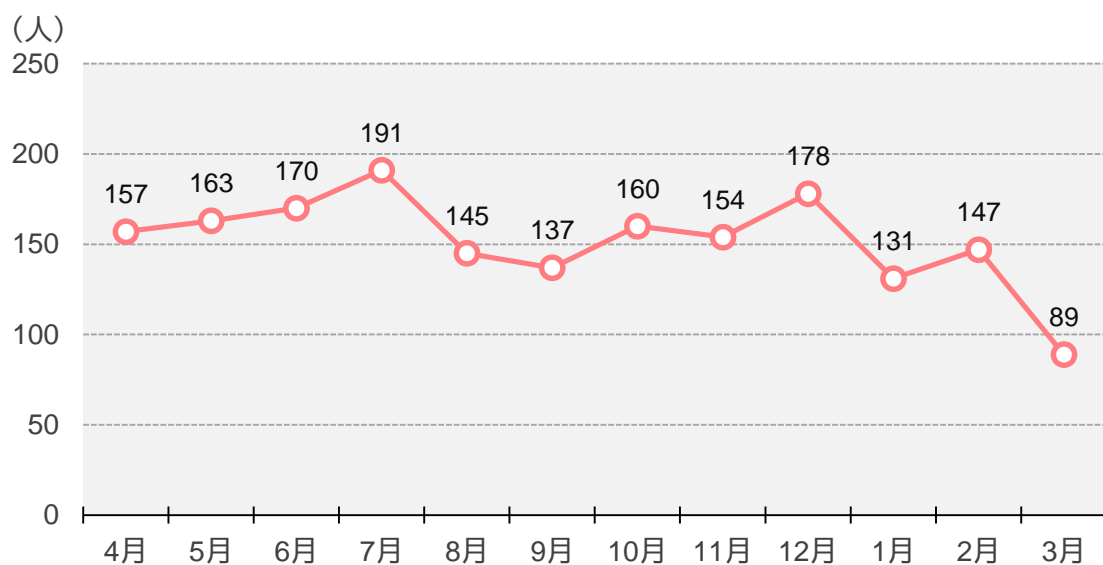


資料：東秩父村

図 1-7 やまびこ会有償運送 年間利用者数

② 月別利用者数

やまびこ会有償運送の2019年度の月別利用者数は、大きな変動は無いものの、7月の利用者数が最も多くなっています。3月の利用者数が大きく減少していますが、新型コロナウイルス感染症の流行が懸念され始めた時期であり、その影響を受けて利用者数が減少した可能性があります。

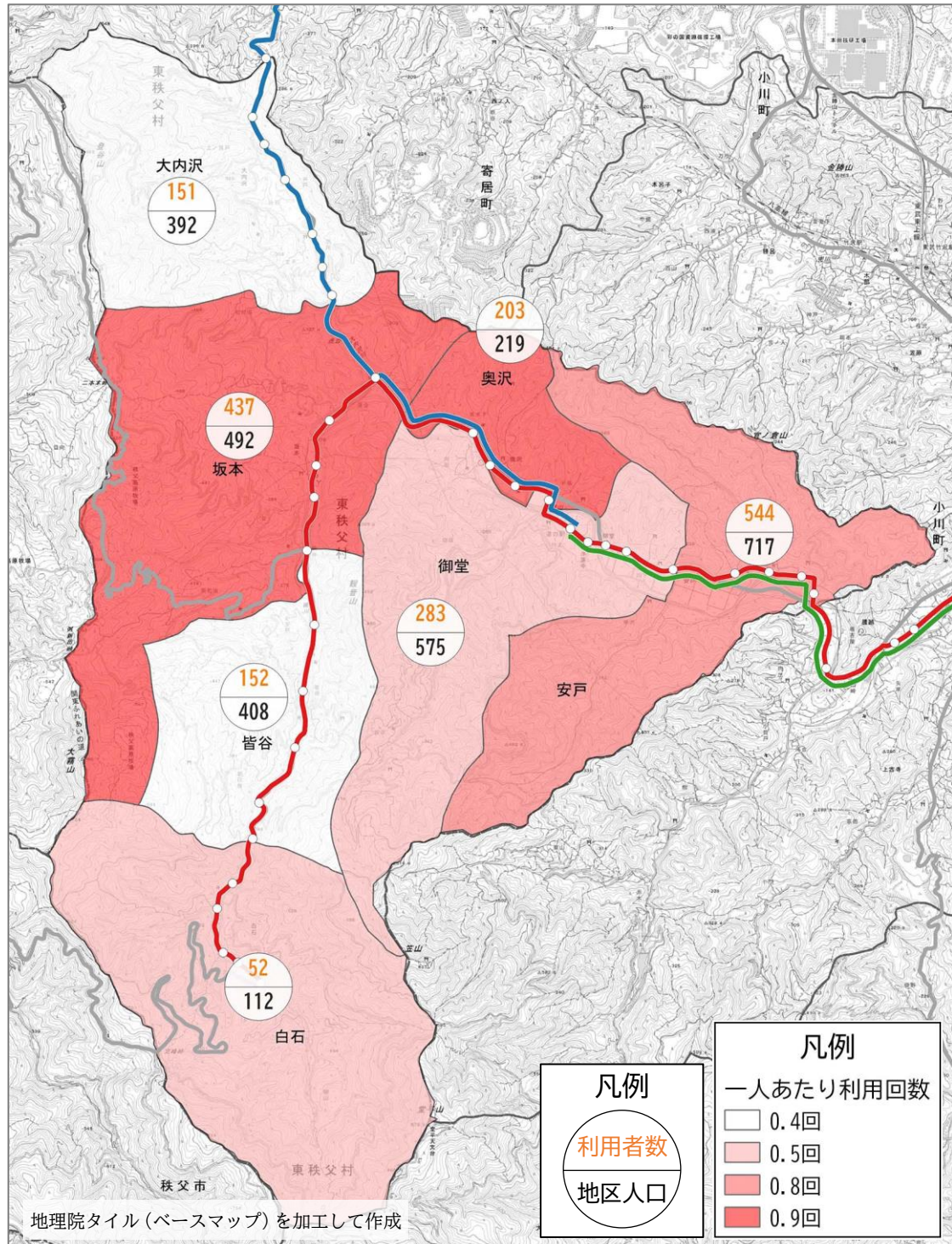


資料：東秩父村

図 1-8 やまびこ会有償運送 月別利用者数 (2019年度)

③ 地区別利用状況

やまびこ会有償運送の地区別利用状況は、利用者数（図中オレンジ色の数字）が最も多いのは安戸地区で、次いで坂本地区となっています。地区人口一人あたりの利用回数（利用者数÷地区人口）では、坂本地区及び奥沢地区での一人あたりの利用回数が多くなっています。また、白石地区は地区人口が村内で最も少ないため利用者数の絶対数は少ないものの、一人あたり利用回数では大内沢地区や皆谷地区よりも多くなっています。



※やまびこ有償運送の利用者数は2019年度1年間の利用者数。地区人口は平成27年国勢調査による人口。
資料：平成27年国勢調査、東秩父村

図 1-9 やまびこ有償運送 地区別利用状況（2019年度）